須 昭和八年三月 崎 圖幅第二四八號縱行一八橫行三三 地 質 地 說 質 明 調 書 查 所

須 崎

目

次

圖幅第二四八號 地質說

明

書

下部層

上部古生界一秩父系

地

質

上部層

(二) (一)

Ξ

三疊系

下部層

上部古生三疊系一虛空藏山層

自一頁至二四頁

頁

七頁 五頁 四頁 三頁

○買

○頁

八七 六 五 (=)閃綠岩 現世統 蛇紋岩 鳥 四 (ロ) ノ単領石 萬 + E 統 部

第二 用

自二四頁至二五頁

二四頁 二三頁 三真

一六頁

二四頁

二五頁 二四頁

二五頁

二五頁

五 四 \equiv

±

建築 硅石

石

材

石灰岩

須 圖幅第二四八號 地 質 說 明 書 (昭和五年九月稿)

商 I. 技 鈴

木 達 夫

第 章 地 質

部古生界 秩父系

= 貫通セラ 及 n 高岡 郡 岩 長者村長 7 達 2 者附近二 ,砂岩、粘板岩、角岩、石灰 板岩層アリ高岡郡 粘 板岩層及石灰 於テ 7 岩 = 都地 n 方二 砂 3 7 閃 綠 F 色 岩 ァ リ、本系 粘板岩層、 及 蛇 紋 1 岩 7 E.

二頁 四頁

1 砂 厚 + 7 灰 以 色 テ 或 粘 1 板 晤 岩 灰 1 色 瓦 細 盾 粒 ス 150 3 テ 石 英長石 硅 岩 粘 板 岩 等 1 細 粒 = 10 成 ij 普 通 = 米 乃 至 Ħ.

7 板 2 胀 以 內 時 外 テ = = 砂 1 制 岩 質 灰 1 2 色 Ħ. 7 2 居 呈 テ 灰 石 2 z 曲 共 n 7 英 中 = 現 脈 色 1 1 25, 或 厚 7 貫 te ~ IJ 通 n æ 19 = 7 7 7 n Ξ 岩 10 Z 狀 叉 ÷ 灰 米 7 1 色 모 7 = ス 色 ij æ z N 1 + 色 最 分 * 7 + IJ 7 通 本 色 15 ナ 岩 1 ŋ 1 部 質 黑 O E 分 25. 色 ١ 2 1 米 交 テ ÷ 乃 互 千 1 至 2 枚 1 Ŧī. テ 岩 厚 1 + 7 = 厚 显

岩 角 ~ 質 岩 1 红 老 系 1 灰 色、赤 1 上 7 色、緞 部 ŋ 赤 1 砂 色、黑 色 岩 及 粘 灰 色 或 板 色 1 1 モ 白 色 2 7 A 星 介 炒 量 在 2 1 灰 赤 色 -1 鐵 ÷ 厚 7 含 2 æ 時 普 73 通 = 至 放 ナ 散 ŋ 盎 緻 7 7 密 ŋ 含 堅 硬 × 九 1 = £ 1 1 7 ŀ ŋ 稍 本 結

又 石 5 -砂 岩 ŧ 粘 白 1 板 色 Ŧī. 岩互 若 + 2 米 居 7 中 = n 達 = 灰 介 ス 色 本 在 = 3 2 -7 緻 = 1 1 密 時 厚 艾 # = 2 紡 普 撒 通 7 -米 質 乃 出 + 至 1) ス n Ŧī. 本 3 ŀ + 1 7 v 1 父 系 ÷ 最 Ŀ + 厚 部 + 1 鳥 粘 形 板 Ш

造 巠 郡 Щ 単領 町 H 石 ŋ 西 方 = 尾 III ス 後 村 者 佐 1 層 25 Bi. 31. 野 父 系 殖 1 Ш 7 近 以 = 於 テ テ 北 見 1 Ξ n カ 墨 如 系 7 25. 明

長者 力 共 堂 5 厝 等 林 著 别 衝 各 白 7 F. 3 成 地 村 石 + 斷 t 塊 Ш ÷ 黑 ŋ 1 及 1 鳥 瀧 7 秩 3 父 形 111 表 5 系 Ш = 2 秩 於 4 红 1 1 n 略 區 5 系 東 城 12 1 1 秩 3 石 西 1 75 ÷ 父 + 灰 至 n 北 ÷ " 15 1 北 其 鳥 東 斷 他 隣 3 1 ŋ 伊 1 駄 南 野 3 存 圖 1 西 幅 テ 甌 砂 -城 走 及 數 ŋ 西 區 頁 = 北 於 岩 隣 1 卯 1 層 方 テ Ŧī. 之 甌 Ł + + 域 町 35. 度 1 層 座 圖 乃 幅 地 t 1 至 塊 多 = 數 八 瓦 = 地 ŋ 賦 質 + 7 力 ij 圖 废 テ 檢 テ 上 25. n 傾 7 唯 1 = 發 北 H 斜 1 達 西 浦 te 南 部 +

sp., Lithapinan 化 紀 中 秩 石 = 父 系 高 Neoschwagerina 1 岡 Sp. _ 那 ヲ、高岡郡 部 佐 Ш = 屬 町 craticulifera 尾 及 ス Ш n 加 Æ 村 茂 佐 1 村 + Schwager 1 25 國 9 於 及 5 峰 n 其 長 赤 他 者 色 村 角 1 紡 黑 岩 瀧 鐮 中 盎 Щ = 7 及 1 檢 白 放 石 出 散 Ш 蟲 t 東 IJ 7 ép 津 含 チ 野 3 Ŀ 村 žĽ. Ŀ 部 原 鄉 古 博 ± 生 = 於 代 1 4 1 Cenelipsis N 石 疉

二 上部古生三疊系—虚空藏山層

= Ŀ 部 1 古 高 生 知 代 岡幅 1 紡 1 錘 Ξ 鐡 寰 7 Ш 檢 居 出 = 2 ŋ Ŀ 連 部 續 1 + 硅 n 板 地 岩 層 中 = 2 254 放 5 散 本 蟲 7 幅 發 地 見 內 3 = ŋ 5 1 ŀ F 連 镀 1 石 ÷ 灰 N Ξ 岩

2 部 Ш カ 古 生 22 = 代 19 兹 1 1 25. 虚 父 知 系 签 圖 藏 及 幅 Щ Ξ 地 層 墨 內 ナ 系 佐 n = 古 名 村 ス Ξ 7 n 镀 設 部 山 ケ 分 25 テ 7 記 n 9 歳 = Ξ ス 學 ŀ 明 紀 = カ 1 + 介 n 化 世 + 石 ŋ 之 紀 7 戦 各 t 別 7 = V 區 n 分 N ス 事 實 ル 7 -得 8 # IJ

本 ŧ 層 7 3 標 牛 波 觀 z 7 n 呈 ス、本層ラ 石 1 岩頂 Ŀ 岩石 F ノ二階 灰 岩 = 硅 分 板 7 岩 7 等 H 成 ŋ 質 1 圖 幅 地 北 西 部 1 秩 父 系

(一) 下部層

石 灰 岩 7 挟 1 n 砂 岩 頁 岩 居 -2 テ 嵇 = 硅 板 岩 及 凝 灰 岩 7 挟 有 ス

頁 砂 ŀ 岩 互 厝 灰 色 75 五 暗 灰 6 7 呈 3 細 粒 25. 2 テ 主 35 石 英 及 長 石 3 9 成 九 + 米 M 外 1 厚 サ 7 以 チ

成 ス 頁 岩 6 或 14 暗 灰 色 7 呈 ス Ċ Ā 米 75 至 + 米 1 厚 + ッ 以 テ r 互 居 2 板 釈 或 1 塊 狀 7

生 狀 石 [11] 或 方 灰 25 1 霜 石 狀 1 24 白 微 ル 7 色 呈 品 * 乃 及 ÷ 3 至 1 普 灰 土 1 通 6 質 Ti. 厚 7 + + 문 3 米 -2 IJ 米 4 成 達 75 嚮 至三 z V 堅 硬 + Æ 4 166 凝 米 2 方 + 灰 テ 岩 n 結 石 7 ÷ 品 高 質 細 3 岡 1 叉 郡 * 1 吾 1 Ŀ 粒 F F 村 Ħ 空 25 岩 頁 谷 質 岩 及 非 7 東 品 作 津 Æ 質 ^ 野 1 及 ij 村 * 鲕 鏡 古 1 F 味 1 = П 7 於

骸 7 7 to × 九 九 7 1 -te 7 IJ ŋ 北 原 村 神 谷? = 於 4 n 石 灰 岩 1 Neofusulinella = 類 ス n 紡 錘 蟲 及 放 散 飍 形

· . 或 ^ 灰 共 £ 下 色 二現 或 出 ~ 紅 ス 鏡 色 F 7 = 모 テ 3 1 細 主 粒 1 質 3 35-デ 3 綠 テ 泥 普 石 通 厚 3 ŋ + 成 -9 米 粘 73 至 土 質 + 物 米 7 1 交 -6 7 1 石 灰 岩 中 15,

岩 H 岩 層 ф 25. 介 在 或 1 灰 7 t 緻 密 堅 硬 = 2 テ 時 4 縞 狀 7 呈 ス 厚 + -米 75 至 E. 米 1 屯 1

森、芳 西 造 四 签 本 = 25-層 藏 走 瓦 Ш 2 J: 北 高 部 岡 2 層 西 脈 町 = 7 1 3 五 ŋ + 成 方 整 废 3 + 73 數 n 合 至 個 清 的 八 處 瀧 15. + 李 被 = 伊 覆 度 於 野 to 傾 9 斜 斷 圖 7 居 it ス 幅 厚 共 地 = + 南 內 3 1 ŋ = 千 -3 ŋ 北 £. 斷 切 厝 百 斷 原 米 7 + 村 以 ラ = 達 テ n 谷 安 ス 虚 ᇓ n æ 空 Ш 槪 * 1 3 山 = テ 接 東北 如 2 東 鶴 22

二上部層

ァ 7 1 = 灰 色 或 及 1 7 長 暗 石 灰 × 色 n ナ 3 砂 19 7 모 成 Ę ij 3 粘 岩 1 板 粒 -岩 質 ナ 1 至 角 n テ + ÷ 1 7 交 厚 岩 7 £ n 多 7 ÷ 7 叉 有 7 普 テ ス 厚 通 ŋ 縞 塊 板 + 狀 1 及 7 7 H 星 成 Ŧi. t ス 百 n Æ 米 ÷ 互. 1 = = 縞 達 1 往 狀 X ×

1

73 百 至 Ŧī. 米 灰 色 或 + 1 7 以 テ 色 7 呈 ŀ 3 互 緻 居 2 + 艾 n 毛 板 稍 岩 柔 海 3 テ 7 ナ 頭 2 面 テ = 之 ŀ 1 交 小 互 片 z = 破 3 2

= 硅 介 在 ス n 3 ~ + テ 又 0 晤 牛 7 灰 頁 成 色 岩 セ 赤 7 色 R 老 又 3 1 テ 7 淡 ŋ 本 質 色 图 7 显 = 15 2 + + _ 米 カ 內 外 如 73 至 + 1 厚 Ŧī. 厚 + 7 7 成 以 -6 7 テ 縞 成 n 胀 ÷ 3 1 テ 7 砂 7 成 岩 ij to Ę N 岩 ÷ 互 1 曆 及

中 緞 25 色 2 及 放 赤 散 色 蟲 7 显 Cenosphaera t N 硅 板 sp., 岩 Spha 中 = 1 放 散 sp., 蟲 1 Porodisc 骸 \$ K 7 sp. 含 × 7 n = × 1 7 ŋ 高 岡 郡 4 賀 野 村 1 硅

成 ŋ 晤 灰 色 尾 粘 Ш 土 村 質 11 物 H テ 1 南 廖 結 方 4 = 7 n H 厚 3 + 灰 1 色 米 15. 内 3 外 テ + 11 豆 大 碓 岩 岩 粘 板 岩 等 1 礫

12 必 單 斜 7 n 7 尾 本 老 成 Щ £ 層 z 部 及 層 大 斷 1 南 7 1 近 東 F + 四 部 73 層 テ 至 秩 J: 東 父 = 250 7 北 系 累 東 重 2 西 ス 北 III. 1 方 西 走 = 向 厝 -傾 7 以 ŋ 七 北 T テ ル 方 N 大 = = 4 部 四 * 分 7 = 1 本 ij 废 L. 乃 居 部 至 1 珠 分 八 羅 + 布 紀 麼 Tax. 1 域 = 鳥 傾 1 斜 廣 巢 + 狹

to ŋ 1 石 7 上 部 -化 1 7 發 手 地 域 77 內 ŋ 卽 本 4 佐 化 Ш 石 须 1 11 林 間 鐵 貞 道 -氏 1 4 賀 定 野 及 隧 道 記 戦 內 25. 於 3 v テ 頁 1 佐 岩 Щ 中 盆 3 地 ij 1 採 下 取

1 Ш ァ æ 1 9 Ξ テ ---墨 未 部 系 H ä, 3 明 Ξ ŋ 墨 確 產 系 ナ to 9 7 n + 包 Pecten 1 括 毛 ス susukii 兹 n 老 = 之 Kobayashi + 7 ŋ 記 ۴ ス ス ŀ 4 同 種 賀 野 ナ 耀 ij 道 ŀ #h 也 7 產 v 3 3 3 13 ŋ 然 F ラ 云 7 1 事 本 實 Ŀ 部 35 就 盾 牛 1 多 少 7

三 三疊系

3 5 テ 北 3 西 東 1 Ti. 圖 + 東 幅 度 37 地 內 ŋ 1 外 北 西 南 = 部 西 ナ 斜 -N 七 亙. 佐 ル 9 Ш 單 テ 町 斜 狹 附 近 7 ナ 25. ナ ル 露 地 z 出 帶 2 7 南 占 及 北 4 佐 n Ш 東 町 西 附 -近 走 = V テ ル ~ 斷 居 走 向 北 3 六 1) + テ 慶 秩 東 父 系

系 2 主 ŀ 2 テ 砂 岩 頁 岩 = ij 成 9 撥 岩 7 挾 有 3 共 厚 * Ξ 百 米 內 4 25 達 ス

ル 3 = 砂 ij 1 成 岩 7 -75 7 膠 至 五 * 2 塊 1 厚 + + ŋ 毎 佐 = Ш 頁 岩 町 1 佐 互 111 居 岡 鹼 2 附 帶 近 黄 灰 1 砂 色 岩 或 1 22 灰 ŋ fr. n 7 Daonella sp. 문 3 石 英 採 及 長 取 to 石 7 V 細 A 粒

色 岩 モ _ 米 75 2 至 11. 片 + 米 = 破 1 厚 碎 サ 2 7 以 7 綠 テ 砂 色 岩 1 モ ŀ 互 1 層 ~ 稍 ス、本 堅 岩 硬 = 1 灰 3 テ 色 塊 晒 狀 灰 7 色 呈 或 ス 1 佐 緞 Щ 色 町 7 藏 呈 法 2 院 灰 谷 色 及

於 テ 暗 灰 £. 1 頁 岩 中 3 19 1 Daomellu Kotoi Mojs., D. sakaswana Mojs. ヲ採取セ

ノナリ 蠻岩 灰色ラ呈シ小豆大ノ砂岩硅岩粘板岩ノ礫カ暗灰色粘土質物ニテ膠結セ 7 V 4 九

ラレタリ 時代 本層 ハ三墨系ノ内所謂ダオネラ層ニ屬スル 老 ノコシテ多数ノ地 質學者 = 3 ŋ 研究

Oester, Ung. u. d. Orients, Bd. VII () 至) 初メテ記載セラル(E. v. Mojsisovics, (1889), Ueber einige japanische Trias-fossilien (Beitr. z. Pal. u. Geol. 職法院産ダ オ ネラノ 二種 Duonella subravana Mojs., Daonella Kotoi Mojs. ハ E. v. Mojsisovics ニ

XI, No. 2.) 48 Triassic Fauna of Rifu near Sendai. (Sci. Rep. Tohoku Imp. Univ., Sendai, Japan, Second Series, (Geology) Vol. 其後矢部 博士及清水博士ハ次ノ同地産ノ 化石ヲ記載 セ (H. Yabe and S. Shimizu, (1927), The

Duonella Kotoi Mojs.

Duonella Kotoi Mojs. var. alta Yabe and Shimizu

Daouella sakawasa Mojs.

Duonella densisukuta Yabe and Shimizu

Duonella densiauleata Yabe and Shimizu var, subquadrata Yabe and Shimizu

四百 士: 佐 國佐 川の三疊紀層と上部古生層の横移岩塊クリ 林貞一學士へ佐 賦號及第 四百五拾四號參照 Щ 町藏法院產 ノ「ダオネラ」ヲ ツペン 研究シ次ノ種 地質學雜 類ヲ 誌 附 加セリ小 第參拾 八卷 林 贞 第

Danada indica Bittner

Daonella indica Bittner var. zohoinensis Kobayashi

Duonella densisukata Yabe and Shimizu var. salinari formis Kobayashi

Daonella denzisulouta Yabe and Shimizu var. Shimizui Kobayashi

from the Sakawa Basin, Province of Tosa in Shikoku, Jap. Jour. Geol. and Geogr. Vol. VIII, Nos. 1—2 《 壁] archeleus (Laube), Thishites orientalis Shimizu to ス n 標本中二 水 士ハ シテ後者へ其化石帶ヲ明カニ 最近 Dronella densisulanta Yahe and Shimizu ノ印像存スルヲ以テダオネラ層ニ屬 佐 Щ 町青 山文庫所藏ノ藏法院産菊石ヲ研 ヲ記載セリ (S. Shimizu, (1930),On Some Triassic Ammonitos セサルモ下部カ 1 ニツク階ニ属スルモ 究シ テ Protractigeeras ノト稱

始 Mojaisovics 氏 ハ「ダ オネラ層ョリ 1 化石ヲ紀載スル 二當り Pseudomonotis ochotica 1 共 產 z

ルル 1 7 モ 述 亦 1 此 9 1 L 事 B 實 N 1 モ 誤 共 湿 後 矢 ナ n 部 事 早 坂 7 詳 兩 述 博 + # 19 等 1 周 到 ナ n 採 集 35-* 拘 1 3 ス 之 7 發 見 ÷ ス

後 atf. archelaus (Laube), Daouella indica Bittner 者 之,藏 1 同 法 樣 ニラ F * 木 = " ラ 7 階 1 = 矢 部 相 清 當 水 ス 网 25 ij 博 士、小 陸 林 前 國 學 利 + 府 1 = 主 於 張 4 ス ルガ 九 カ 才 如 木 7 Ŧ 所 層 產 ŀ 1 對 比 Protrackycerus 2 7

兀 羅 系

(--) 川

岩 等 7 25 有 ス 藏 厚 Ш 層 * 南 35. 方 3 = 3 於 次 5 25. 廣 紀 城 七 7 1 占 カ × 如 76 7 J: 頁 F 岩 1 7 = 主 部 1 層 3 = 部 + 7 32 IJ 放 散 盎 頁 岩石

似 田 Щ 本 t n 4 7 ŀ 31 LL 5 鳥 テ n ŀ. 巢 Ŀ 居 部 部 燈石 層 ١ 1 7 問題 灰 鳥 岩 係 1 7 1 厝 挾 各 分 3 1 頁 布 同 岩 麗 位 域 1 富 7 老 異 × = 1 n ス 認 砂 定 岩 n ス 頁 爲 × 1 居 確 币 然 安 判 藝 1 石 Ш 斷 灰 z 岩 n 1 能 珠 ~ 羅 島 1 紀 + 1 巢 = 屬 石 モ ス 灰 佛 岩 ル 像 = 45 及 桑

F

+ 以 米 岩 テ 254 膠 1 達 放 灰 散 ス 世 n Ŧ 赔 盎 灰 頁 1 モ 厚 岩(イ) 色 7 1 + ○三米 7 7 呈 × 2 ル 石 內 砂 外 英 岩 及 老 頁 10 岩 7 長 層 1 石 = -米 1 3 細 乃 テ 粒 至 處 五. 22 -米 ij 3 成 1 胍 ŋ 쌮 岩 + 粘 板 及 毎 石 岩 35 II. 1 灰 11. 破 7 1 互 片 層 7 有 交 æ ス = n 粘 Æ 土 1 質 ŀ 厚 物

쬤 理 頁 岩 多 7 灰 3 色、暗 テ 1 片 灰 色 = 時 破 = 縼 3 易 色 * 或 + 1 7 * 1 1 = 八 + 灰 25. 球 達 7 埋 ス 藏 ス 九 æ 1 7 ij 砂 岩 F

色

ŋ

板

狀

或

1

塊

狀

25

3

テ

緻

密

堅

硬

1

老

1

或

互

層

÷

n 1

毛 散 放 12 7 1 蟲 散 1 厚 形 以 31 蟲 頁 骸 サ デ テ $\overset{\bigcirc}{\Xi}$ 7 岩 頁 包 J: 藏 来 岩 主 = ŀ 73 ス 1 時 頁 7 3/ 至 모 9 岩 = -米 ス 硅 赤 F 色 ナ 3 7 n デ 显 逾 æ 2 多 3 色 テ 7 字 + ŋ 佐 = 厚 = 村 + 板 離 色 共 7 _ 米 他 呈 = 乃 # ス 至 ~ 硅 Ŧī. 2 鐵 板 織 露 岩 7 頭 面 含 1 モ 稱 1 = × 普 テ ス n 通 1 赤 粘 色 + = 粘 ± モ 2 狀 テ 1 土 7 質 7 現 ル = + 1 モ 3 圖 米 ス 輻 成 25-* 1 內 ŋ

大 73 蟹 n 至 3 胡 實 大 硅 南 岩 東 砂 岩 藏 李 粘 板 1 南 岩 等 麓 = 砂 岩 7 砂 中 粒 25. 3 7 テ テ 露 出 結 te 3 灰 n 色 * 或 35. 1 赔 3 テ 灰 厚 色 # 7 呈 _ 米 2 73 1 至 豆

ス

1

7

三米ナリ

向 Л 部 略 統 構 居 石 東 E 造 -灰 部 西 2 或 層 本 稀 1 150 層 有 15 東 接 15 1 É 北 北 2 + 1/2 南 方 7 15 西 久 於 2 南 體 テ テ 塊 西 町 字 = = 佐 須 1 3 ŋ 村 飾 部 テ 大 3 分 野 傾 1) ŀ 見 斜 多二 縞 村 1 缩。岸 \equiv 7 村 1 + 經 7 井 部 度 9 經 = 大 功 テ 發 1 至 E 東 見 7 八 村 津 + ŋ + 3 154 野 度 瓦 村 V 狀 = v. 新 A 2 田 N 1 部 テ 斷 35 1 厝 多 瓦 2 15 7 v -厚 硅 15 步 3 N 北 ŋ 斷 Ξ 7 方 テ 層 米 限 = 7 內 7 外 傾 .9 以 本 7 N テ ナ 其 ÷ 安 ŋ 時 走 鉱

步 本 1 1 走 手 米 向 斷 內 4 屑 拡 ナ n \Rightarrow 穏 曲 3 丰 = # 19 反 覆 露 出 2 爲 x = 地 域 內 -於 チ 15 幅 廣 7 發 邌 to n 老

=

南

方

28-

傾

5

1

ŀ

=

7

ij.

(中) 上部屋

= 於 チ 1 石 砂 岩 岩 页 7 岩 挾 1 × 耳. 12 居 砂 岩 發 遾 n 岩 t 居 ŋ = 2 5 頁 岩 共 大 部 7 4 * 豨 = 放 散 蟲 頁 岩 7 伴 ~ IJ 4 Ш

Q E 13 至 灰 色 或 1 暗 頁 灰 岩 14 1 7 4 呈 3 石 t 英 ル 及 毛 E 長 厚 石 + = H. ŋ 米 成 = 1) 遾 灰 ス 19 12 粘 土 老 質 1 物 ァ ij 3 1) 腮 結 -9 n

75 至 頁 Ŧī. n 米 æ 1 = テ 色 板 暗 岩 胀 F = 色 互 或 層 離 ~ 世 ス 綠 石 n 色 * 灰 1 畤 老 若 = 厚 7 7 サ ~ IJ 泥 + 灰 軟 米 岩 脆 = 1 達 團 ス 球 テ n 7 1 Æ 包 片 1 蔽 = 7 ス 破 ŋ n 碎 3 2 1 易 ァ + ŋ æ 普 1 通 3 厚 3 砂 + $\stackrel{\bigcirc}{\underline{=}}$ 岩 1 米 互

Solenopora 石 4 灰 2 テ rothpletzi 延 灰 長 色 Fi. (Yabe) 或 + 1 米 暗 共 25. 灰 他 及 色 7 珊 7 3 破 片 ナ 桃 7 埋 7 藏 2 3 鳥 テ 頁 巢 厝 中 1 25. 石 介 灰 在 岩 t 25. ŋ 酷 似 儉 セ = 19 於 厚 5 + n -モ 米 1 乃 1 至

放 テ 厚 散 步 蟲 Ξ 頁 米 岩 內 赤 外 7 色 1) 7 本 星 曆 2 中 1 7 tr × V n = 存 ス n 老 3 ナ ŋ ij ۲ ス 25 放 散 盘 7 包 藏 ス N 毛 1

本 乃 Ш 庭 層 至 = za. 達 ス 八 1 1 上 此 + ス 層 斷 2 及 1 = モ 高 糯 傾 1 地 149 曲 7 多 t 如 n 中 形 3 丰 高 走 爲 成 地 向 = 町 z 向 3 モ 22 東 東 7 チ 西 高 擾 戶 西 波 = 岡 或 亂 傾 成 走 斜 ス 町 ~ t 村 東 方 丽 v 横 n 4 向 n 灦 北 4 Ш 3 厚 東 テ Ш 斷 * 及 J. 17 ŋ 部 ~ 東 F 42 ス 7 ŋ 波 野 Ш 九 1 四 テ 村 村 村 200 共 帶 浦 3/ 20 = ァ 北 テ 於 向 1 方 內 N 北 北 テ Ľ 方 千 東 老 1 或 Ŧī. 西 槪 地 亙. 1 塊 ŋ 百 = ~ テ 25. 南 米 M. -於 何 7 向 方 戶 9 波 以 テ 斜 四 テ v 居 * テ ~ + 村 發 度 啊 7 虚 25 塗 於 = 25 双 形 乃 ス 北 而 四 成 至 テ 方 山十三 \equiv 1

3

之 7 斜 推 t 考 n ス 處 n 多 7 = 露 該 斷 頭 層 = 1 卽 逆 2 斷 テ 層 斷 或 厝 2 1 性 衝 質 J: 斷 7 究 居 ナ 4 ラ n 2 3 ۲ 1 疑 能 1 1 サ n ŋ 2 관 共 界 並 250 地 形 J:

二 四萬十統

岩 1 15 良 1 岩 發 及 達 頁 2 厚 7 居 主 ヲ 1 成 世 + R 岩 2 3 ァ ŋ 9 成 v ル 老 處 4 -放 散 蟲 頁 岩 及 쑾 岩 7 挾 有 t 丽

n to 砂 達 ラ ス 12 普 n * 通 色 1 厚 或 ア + 1 $\stackrel{\circ}{\underline{\Xi}}$ 灰 米 色 內 7 显 若 2 7 石 1 英 厚 及 # 4 長 -米 石 乃 1 至 細 五 粒 米 或 = ~ テ 粗 頁 粒 岩 37 1 ŋ 互 成 層 ŋ 灰 t 色 n 粘 ÷ 時 ±: 35, 質 厚 物 # = = テ +

乃 至 色 頁 Ŧī. 岩 1 米 ÷ 灰 1 厚 色、暗 1 稍 軟 7 灰 以 脸 19 テ in. 聯 3 2% 岩 テ 1 14 瓦 片 或 居 = 1 破 ス 黑 碎 143 2 7 易 星 7 ス 黑 晤 色 灰 1 色 モ 1 1 ÷ 15 1 硅 普 質 通 = 250 2 2 テ テ 堅 灰 色 硬 ナ 1 ŋ ÷ 概 1 木 之 O E -次 米

ラ 3 放 散 テ 蟲 頁 硬 岩 1 乃 æ 至 1 Ŧī. ァ 色 1) 7 放 呈 散 3 凝 形 質 骸 1 及 老 赤 1 鐵 緻 鏃 密 1 25. 細 3 粒 チ 7 稍 含 軟 2 + 粘 老 土 1 質 板 物 狀 或 = 1 刢 碓 維 質 ス 物 n = + テ 1 騘 叉 結 塊 狀 t

+ 1 + ij + 7 乃 至 3/ Ξ 1 米 豆 ナ 大 乃 至 胡 桃 實 大 1 硅 岩 砂 粘 板 岩 等 1 圓 礫 7 砂 粒 25 テ 膠 セ

傾 2% 走 + 鱍 25. 岡 走 向 废 北 3 4 V ナ 3 ŋ 單 n N 1 本 同 斷 + 丽 西 加 废 層 層 3 方 žľ. 1 7 乃 3 北 テ 成 西 至 東 布 t 大 四 居 义 近 In. 野 南 + 城 或 ,24 見 東 废 1 ァ = 1 東 村 嚮 25-9 走 == 曲 テ デ 亙. 走 V 1 1 7 n ŋ 爲 V 以 北 n 1 テ 地 層 四 = = 數 方 域 及 於 南 南 區 北 方 = = 西 テ 25. 東 四 25-走 分 テ + 傾 向 B 废 南 1 絲 3 東 v 走 75 西 ス 傾 西 各 至 向 -斜 n ナ 麗 東 走 11 h ル + 四 v = ÷ 3 九 废 p 方 之 於 大 7 傾 3 テ 斷 ŋ テ 斜 ŋ 地 層 31 西 質 松 井 方 = 北 方 因 遊 = 田 西 Ш 浩 Ŧī. ŋ Л 方 村 地 7 + テ 村 地 = = 数 方 废 = 四 於 = 於 73 區 = + テ 七 テ T 至 1 脧 1 IJ 11. 73 八 25 ŋ 次 卽 南 至 地 テ

1 IJ 岩 岩 統 ス 質 1 テ 1 到 序 禮 N 町 處 3 3 + ŋ 見 大 Œ n N 1 時 村 テ 13 = 質 安 耳. JII 及 7 瓤 沿 累 111 n 重 統 \rightarrow 狀 ス 及 大 態 鳥 斷 n テ = 7 1 巢 1 7 四 層 -2 以 千 7 + テ ŋ 7 含 安 藝 -4 層 ÷ Ш 厚 W. ナ F 步 n 老 1 1 Z 斷 * = 居 = 屯 揺 1 地 3 曲 困 質 難 等 構 15 ナ 造 W. 牛 n 1 關 爲 爲 複 係 雜 x x 不 + 明

五 鳥ノ巣・領石統

F 石 п 部 灰 3 各 7 白 3 地 區 聖 n 7 别 紀 . = 七 於 化 2 × -テ 石 テ 1 n 佐 湖 7 砂 Ш 定 色 產 累 岩 町 層 ス ス 3 頁 珠 岩 n 羅 連 方 = 岩 紀 = 鳥 能 at 3 = 1 IJ テ 厚 + テ 瑩 + ij 驱 岩 近 紀 大 2 7 25. -千 7 部 # 以 瓦. 分 = テ V 15 t 良 好 達 之 n 7 z 老 = n 發 層 括 ナ 達 + ナ ス 2 4 4 n 如 9 2 テ 7 鳥 3 以 1 部 テ v 巢長 1 鳥 此 25 領 + 1 名 巢镇 者 全 石 有 展 植 村 ŋ 域 物 白 石 化 居 石 2 Ш 瓦 石 1 1 及 ŋ 2 古 テ 他 色 チ 味

自 介 石 頁 1 Щ Trigonia togamai Yehara 及 佐 灰 * Ш 但 -MJ 暗 吉 灰 乃 田 色 至 屋 或 敷 Ŧī. 1 米 一於 緞 テ 色 7 4 以 7 -モ テ 1 3 砂 領 テ 岩 石 1 植 1 互 Perisphinetes merimotoi 物 7 層 化 t 石 Ji. 7 1) = 包 破 藏 ス 3 叉 易 Yehara 島 3 1 時 巢 24 1 附 板 採 近 釈 取 = = 於 t 鉚 テ 7 雕 V 2 ス 之 7 n 3 ル モ = ij 三 1 7 角 ŋ 7

7 以 テ 頁 色、暗 岩 F 耳 灰 居 色 或 ス 15 3 黄 瀧 灰 谷 色 地 7 呈 及 白 2 石 石 Ш 英 及 長 4 石 1 1 灰 紃 色 粒 砂 75 岩 至 粗 中 25. 粒 1 3 ij 成 19 厚 soumayri サ 米 ガ 至 +

Trigonia pocilliformis Yok. 等ノ化石ヲ埋藏ス

æ 以 多 1 1 小 內 量 T 塊 19 = 1 7 槪 局 包 桃 含 2 晤 有 狀 テ ス 灰 7 2 14 之 星 石 义 * 7 ス = N 等 黑 テ 3 Æ ァ 色 7 1 1 石 叉 9 厚 油 2 臭 棘 晶 サ 緻 = 9 珊 質 發 瑚 + 1 米 散 7 モ 多 ス = ナ 途 量 ~ n 2 25, * 埋 ナ 藏 百 ŋ 緬 米 * 3 狀 以 岩 7 J. 呈 23. 1 連 鳥 何 ス 續 1 v n ス * æ n 地 頁 大 岩 方 及 1 ナ 中 形 n 狀 毛 = 扇 介 1 種 桃 在 = A 狀 3 ナ 瀝 7 厚 12 靑 成 サ 化 ス

豆大 厚 1 蠻 共 乃 岩 サ 1 至 -胡 灰 色、暗 厚 米 桃 75 實 * 至 大 灰 色 ナ Ŧī. 1 ŋ 米 硅 7 7 岩 星 角 ス 普 2 岩 通 時 砂 + 25. 岩 赤 ス 及 C n 粘 或 老 板 時 1 緞 岩 -Ξ 1 性 礫 + 1 米 7 硅 硅 岩 184 質 建 或 粘 ス 1 n 土 硅 質 æ 板 物 1 岩 及 ァ 礫 砂 ŋ 7 東 粒 含 津 = 3 野 テ 雜 村 膠 色 結 Ŀ 1 鄉 æ to = n 露 æ 7 出 1 IJ +

Ш x 氏 ŀ 石 1 3 石 Neunayr, 灰 藻 矢 1 ¥ 類 部 及 = 7 早 矢 Ш 5 博 博 九 11 ± 岛 ± 等 及 + 杉 = 石 山 珊 3 氏 淵 9 灰 類T ~ テ 有 1 孔 化 孔 石 1 盎 石 灰 龘 F 珊 類 岩 Ħ 7 y 瑚 古 斷 類二 續 記 7 7 類 3 載 枚 ŋ 7 テ -te 多 IJ 介 共 永 數 出 海 博 赔 1 2 附 + 類 質 近 1 等 學 1 1 者 花 紀 膽 載 類 前 畑 記 野 3 7 t 矢 ŋ 3 1 П 研 諧 岩 部 V 佐、金 究 氏 博 7 받 + ル 比 及 ラ 3 7 羅

テ 記載セラ L 4 n 化石多数アリ化石中主ナ 12 モ ノヲ 括シテ列聯ス V ハ左ノ如シ

Vipponophycus намови Yahe & Toyama 八ヶ森、瓜ノ里

花如、岩佐、野口

Girranella tosaensis Yabe & Toyama

Solemopora rothpletsi (Yabe)

八ヶ森

Cyclamina lituus Yok.

Textularia cf. cordiformis Sch. 島ノ集 岩化、鳥ノ巢

Pulninulina sp.

Chaetetopsis crimita Neum.

ルノ集

島ノ巣、岩佐

Meandrina sp. Isastraca sp. 島ノ巣 岩佐、小瀧

Actinostromaria asiatica Yabe & Sugiyama 岩化

ム繊

X Stronutopora (Parastronutopora) subjuponica Yabe & Sugiy.) japonica Yabe

00) memoria-nanaanni Yabe & Sugiy.

Ç0

) minuta Yabe & Sugiy.

岩佐、鳥ノ巢、花畑、八ヶ森、殖生川 応ノ浜、小浦

岩佐、花如、尾川

Spongiomorpha globosa Yabe & Sugiy. M Stronadoporellina? undulata Yabe & Sugiy. Stronadopora (Epistronadopora) torinosucasis Yabo & Sugiy. M. M. Milleporidium lamellatum Yabe & Sugiy. Tosastrona tokunagai Yabe & Sugiy. Millepollera fasciculata Yabe & Sugiy.) koloi var. tossensis Yabe & Sugiy.) memoria-nasanami var. lennis Yabe & Sugiy.) delicata Yabe & Sugiy. fasciculatum Yabe & Sugiy. sommense Yabe & Sugiy. hanahataense Yabe & Sugiy. 殖生川 花如 岩佐 シ治 谷地 在加 小道 鬼ノ誰 宣 花如、西山 西山、花畑、鳥ノ巢 野口、西山、岩佐、鳥ノ巣、奥ノ瀧 鳥ノ里、奥ノ瀧

Miriopora pyriformis Yabe & Hayasaka Stromatomorpha yokoyamai Yabe & Sugiy.

asiatica Yabe & Sugiy.

野口

島ノ巣(?)

西田

鳥ノ巣、岩佐

Pentacrinus sp.

Cidaris cf. glandifera Gold.

Hemicidaris cf. cremularis Ag.

Pygurus asiaticus Tokunaga

Terebratula bisufurcionata Zeit.

Rhynchonella haradai Neum.

Alectryonia cf. amor d'Orb.

Nerinea cf. visurgis Römer

Cerithium sp.

Belemmites sp.

小瀧、西山

第7年 西丘

岩化、花加

島ノ製

三田

岩佐、小淵

岩佐、西山、花畑

長者村白石川地 方ノ石灰岩中 ハ夾ノ化石ヲ含ム二十萬分之一須崎圖幅説明 所載)

Chaetetopsis crisita Neumayr

Thannastraea

Cidaris cf. glandifera Gold.

以 Ŀ 列 擧 t 2 動物 化石 1 鳥 ノ巢石灰岩 1 4 1 25. 2 テ 上 部 タリ二十萬分之一須崎圖幅說明 珠 羅紀 = 属ス

所載)

白石

川地方ノ頁岩中

=

^

又次記ノ植物

化石發見

t

7

v

Cladophlebis browniana (Dunker)

Podosamites pusillus Vel.

Zamiophyllum buchianum (Ett.)

Ptilophyllum cf. cutchense Morris

Nilssonia schaumburgensis Dunker

吉 田屋敷ノ頁岩中ヨリハ次記ノ植物化 石發見セラレ タル 3 ŀ 7 ij Cladophlebis browniana

(Dunker) (1] + 萬分之一須崎圖幅說明書

貝 是等植物 白石川 ヲ産 5 二於ケル 岩中 化石 ル記錄ア 3 ハ普通 砂岩中ョ ŋ り(江原博士記事)是等ハ下 Trigonia rotundata Yok., Trigonia pocitifornis Yok., Alectyonia cf. cornuta Lam. 等 / 1 | 枚 領石植物化石ト稱スル リ三角介及 Stephanoceratidue 老 部白堊紀 1 za, 2 7 = + = テ 風ス F 部 n 萬分之一須 白 ŧ 壓 紀ウ ナ 崎 九 圖幅說明書(山神二 デ v 階 = 屬ス、此外

J. 部 古 生層 空藏 山 間 若 7 J: 部 古 生層 中 層 7 以 テ 繞 t ラ

西 v 南 テ 西 介 25 在 2 3 7 北 方 巢 = 地 Ŧi. 方 + 1 度 73 白 至 石 八 Ш + 古 废 味 傾 п 1/1 t H n 浦 Æ 11 白 奥 石 等 111 = 20. 赋 於 存 3 ス N 走 + 1 1 直 東 立 西 ス 或 1 東 北 東

間 翼 2 J: 北 1 1 1 部 中 存 部 = 1 方 央 在 砂 巢 3 = = 及 ŋ 岩 地 傾 數 岩 石 頁 方 斜 屑 居 灰 岩 ·te 岩 1 1 7 石 轉 质 n ァ ŋ æ 灰 倒 ŋ 含 テ 1 岩 7 植 テ 1 . 7 想 北 物 F 如 餱 化 方 2 x t 石 25 = 頁 斜 9 n 頁 n 岩 F 岩 岩 . t 7 砂 ÷ 石 n 岩 1 灰 單 × 岩三 層 7 斜層 N 7 ŋ 頁 ŋ 古 角 7 岩 テ 味 介 ナ 層 向 П 7 ス 中 然 斜 = 含 部 構 於 × n -遗 テ ル 35. Ξ 7 砂 1 白 石 爲 共 岩 石 灰 北 2 及 Ш 岩 及 共 盤 地 北 南 岩 方 7 翼 厝 25 25, 挾 於 懋 1 7 × 略 ŋ テ n 直 層 テ 1 砂 立 露 此 岩 岩 出 間 2 層 頁 其 2 25. 直 岩 共 斷 V.

六 現世統

發 及 戶 達 波 村 2 1 砂 平 礫 地 及 25. 粘 テ 土: 1 = 粘 ij 土 成 層 v 廣 ル 7 冲 發 積 達 2 -字 2 佐 テ 須 河 崎 流 , 1 海岸、仁 沿 = 淀 テ Щ 1 沿 粘 土砂 岸 及 III 礫 尻 = н 於 テ 成 1 ŋ 砂 礫 岡 町

七 閃綠岩

色或ハ灰緑色ヲ呈シ粗粒ナ

主成分一灰曹長石角閃石

副成分一綠簾石、綠泥石、透輝石、方解石、磁鐵繪

央 問 及 部 長 緞 7 灰 石 曹 = 簾 間 遺 石 t 長 7 石 v 25 充 n 變 1 殘 大 塡 七 酸 ŋ # 3 透 1 殉 -多 閃 粍 额 19 石 內 石 性 外 1 1 大 华 7 1/2 示 サ 自 柱 ス、緑 Ģ Ā. 形 狀 或 7 泥 耗 1 + 石 他 內 ス 外 形 磁 ~ 徽 不 7 规 柱 爲 则 1 狀 シア 形 結 11 或 品 粒 狀 1 7 x 東 成 ヲ 線 모 3 ŀ 狀 3 多 无 方 7 7 双 成 品 15 総 2 石 ラ 絲 泥 1 ナ 簾 石 長 ス 石 化 石 分 及 1 ス 15 n 共 柱 5 * 狀 僅 鑛 7 物 = 泥 成 中 石

1 5 n カ 28 ---1 大 古 崖 粗 生 壁 テ 粒 居 岩 ナ 7 4 成 石 n -岩 モ æ 3 約 稍 共 床 尖 東 或 西 性 1 岩 = ナ = 瓦 脈 屬 n ス Ŀ ŋ 7 鄉 共 成 n 提 七 3 サ テ 約 長 = 如 於 六 者 + 7 テ 村 米 ~ 1 瀧 細 35 長 達 者 111 粒 ス 及 ナ ŋ n 관 黑 大 叉 瀧 長 岩 Ш 者 脈 村 ナ 透 長 . 1) 出 輝 者 本 ス 岩 黑 = = 於 1 瀧 黑 5 JII 瀧 * n 25 Ш + 於 附 1 4 近 n

八 蛇紋岩

分化 變質 ハ長 t 者 n + 村 緞 1 合 如 地 方 小 區城 ア占メ古生暦中ニ 賞入シ 岩床 或ハ 岩脈ヲ 成 2 閃 綠 3 . 9

2 緑色ヲ呈シ主成分ハ蛇紋石副 紋石 7 斜長石 包 悪セ ラレ 1 ニアル 柱狀結晶 バイト 成分へ ヲナ 斜長石透輝 ス、角閃石 晶 7 示 1 陽起石 z 石角閃石格魯謨 モ 大部分へ 2 分解 柱狀結晶 鐵鑛 ÷ ŋ ナ 7 g 成 蛇 石 紋 ス 1 透 石 鄰 ~ 石 狀 = 或

第二章 應用地質

一溝俺鑛

砂 岩頁岩層 岡 郡尾 中 Щ ノ角岩ニ作ヒ 村西山附近斗 賀野 テ 黑 色 村 及 滿 北原 俺 鑛 ァ 村 ŋ テ = 發達 約 + 年 t 前 n Ŀ 1 部 頃 採 古生三量 掘セ ラ 系 V 中 7 n = 岩ヲ ١ 7 ŋ 3

二 石灰岩

V 主 鳥 ŀ 1 巢層安藝川 シテ生石灰製造原料ニ 統三墨系 及古 利 用 生 t 界 7 中 n 25. 發 達 t 1 石 灰 岩 1 各 地 25. テ 必 嬱 = 應 3 テ 採

三硅石

用 高 岡 テ探 郡 字 掘セラレタルコ 佐村龍地方ノ赤色 ŀ 硅 ァ n 板 岩 Æ 巡 及 同 回 郡長者 當 時 ハ全ク採掘ス 村長者附 近 n 1 ÷ 赤 色ノ 1 ナ 角 岩 1 碓 石 ŀ 2 製

四 建築石材

用ヲ 9 安藝 n Щ ス E 統 ナ = 1 足り、石灰岩 砂岩及四萬十 1 石 統ノ 垣 砂岩 石道路敷石散石等二 15 土豪石、拾石、墓石、石垣 利用 t ラ 石 N 等 2 * テ 部 利 用 地 + 方二 ラ V テ 使 方 用 ノ需

五飯土

÷ 積 n 處多シ 粘土ハ 諸處二於 テ 瓦 用粘土 ŀ 3 テ 利 用 t 5 n 殊 = 高 岡 地 佐 111 盆 地 = 於 之 7 昭和八年三月十七日印刷

昭和八年三月二十二日 發 行 著作權所有

商

工

省

郵定 税價

四四份參錢

刷 者 東京市深川區白河町四丁目一ノ一番地 松

印

印

刷

所

東京

即

東京市深川區白河町四丁目一ノ一番地

井

方

刷 株式 會

社

利

發

行 所

東京市麴町區下二番町四十八番地 東

京 協

會

EXPLANATORY TEXT

OF THE

GEOLOGICAL MAP OF JAPAN

Scale 1:75,000

SUSAKI

Zone 33 Cel. XVIII

Sheet 248

By

Tatsuo Suzuki

GEOLOGY

Upper Palaeozoic (Chichibu System) consists of sandstone, slate, hornstone and limestone. The slate is gray,
dark gray, black or green in colour, and is traversed by
platy joints. The sandstone is fine-grained in texture and
dark grayish in colour and is alternated with the slate.
The hornstone is gray, black, white, red, green, or variegated in colour, being thinly bedded, and mostly compact,
and frequently microcrystalline. The red variety contains
radiolarian remains. The limestone occurs as thin intercalations in the upper part of the alternation of sandstone
and slate, and is white to gray in colour, being compact or
crystalline. Neoschwagerina craticulifera Schwager and
other fusulinid fossils of the age of from the Permian to

upper Carboniferous were detected in the limestone from Mine, Sanokuni, Kurotakigawa, Shiraishigawa and Kamigō. The formation bears a dominant strike of east-west or north 60° east and northward dips varying from 50° to 80°. The strata are heavily faulted and broken into many blocks. From the Triassic rocks to the north and the Jura-Cretaceous Torinosu-Ryōseki Series to the south, the Chichibu rocks are separated by two prominent faults, of which the southern one seems to be a thrust or reverse fault, the Chichibu limestone having been thrusted up over the Torinosu rocks as observed at Hanyūgawa in Togano-mura.

Upper Palaeozoic—Triassic (Kokuzōsan Series) is a continuation of the Sambōsan Series in the Kōchi sheet-map area, where it yielded Triassic fossils from its upper portion, while in the present area the limestone imbedded in the lower portion afforded some fossil Fusulina. Owing to the similarity of the constituting rocks throughout the series, no demarkation line could be drawn between the Palaeozoic and Triassic portions. The series may be divided into two parts; namely, Lower and Upper Beds.

Lower Beds consist of gray to dark gray shale and sandstone with subordinate amount of reddish or grayish chert and dense or crystalline limestone, being rarely accompanied by a fine greenish chloritic schalstein.

Upper Beds are also composed of shale and sandstone, characterised by frequent intercalations of variegated chert and absence of limestone. The chert from Togano contains radiolarian remains belonging to Cenosphaera, Sphaenozoum and Porodiscus. It is reported that a Triassic fossil, Pecten suzukii Kobayashi which was orginally described from the Daonella Beds at Shimoyama in the Sakawa Basin, was obtained from the Upper Beds at the Togano Tunnel. The general strike of the Kokuzōsan Series is from east to west or from east-north-east to west-south-west, and the dip is mostly toward north at angles from 40° to 80°, not without exception toward south.

Triassic System occurs in the vicinity of Sakawa in the northern part of the mapped area, forming a belt trending west-south-west. It is bounded and separated from the Chichibu rocks on the north and south sides by two subparallel faults. The System is made up of sandstone and shale, about 300 metres in total thickness, intercalated with thin conglomerate. The System is noted by the fact that it yielded Daonella sakawana and Daonella kotoi described by E. v. Mojsisovics some thirty years ago. Later Prof. H. Yabe and Dr. S. Shimizu, reported besides the above, three species and subspecies of Daonella; D. kotoi Moj. var. alta, D. densisulcata and D. densisulcata var. subquadrata. Mr. T. Kobayashi added to the above the followings: Daonella indica Bittner, D. indica var. zohoensis, D. densisulcata var. salinariformis and D. densisulcata var. shimizui. S. Shimizu also described two Ammonites associated with Daonella densisulcata from Zōhōin: Protrachyceras aff. archelaus (LAUBE) and Thisbites orientalis Shimizu. By these shell remains the Triassic of Sakawa is compared with the Daonella Beds of Rifu in Rikuzen and correlated to the Carnic or to the Ladinic of Europe.

Jurassic is divided into two series: the Akigawa and the Shimanto series.

Akigawa Series consists of shale and sandstone of enormous thickness, with interstratified radiolarian cherty shale. It is again subdivided into the Lower and Upper beds. In the Lower beds, layers of radiolarian shale are more frequently found, while the limestone and conglomerate are rare and thin. In the Upper, limestone lenses are rather common insertions in the shale. The sandstone is gray to dark gray in colour, being mostly fine grained. The shale is gray to black or greenish in colour, and platy or fissile in structure. The radiolarian shale is commonly reddish, but rarely greenish, being argillaceous or cherty. The limestone is light to dark grayish, and that found at Butsuzo contains Solenopora rothpletzi (YABE) and other fragmental coralline fossils, which commonly occur in the Torinosu Limestone. The Akigawa series strikes in the most cases from east to west or from east-north-east to west-south-west and dips to north at 30° to 80°. It is traversed by numerous faults and broken into several blocks, in which synclinal foldings are locally observed. The Upper and Lower beds are disconnected from each other by a dislocation running from east to west. The northern side of the Upper beds is also bounded by a heavy fault, the Kokuzosan series being thrusted up over the Akigawa series.

Shimanto Series is composed of grayish sandstone and black or green shale with local interbeddings of red radiolarian shale and thin conglomerate, the sandstone predominating over the others. It occupies the southern part of the mapped area, being separated from the Akigawa series by a conspicuous fault running from east to west. The series might include certain portions of the Akigawa series and the Torinosu-Ryōseki series. Whole area of this complex is severely faulted and divided into many blocks with different strikes, from east to west or from north-east to south-west, the prevailing dips being toward north or northwest. The total thickness attains 4,000 metres.

Jura-Cretaceous (Torinosu-Ryōseki Series) is a complex which includes both the Torinosu and the Ryōseki Series. The Torinosu Series consists of an alternation of sandstone and shale, intercalating dark gray, bituminous limestone lenses, rich in fossils of Hydrozoa, Bryozoa, Corals, Crinoids, etc. of Jurassic age, and is typically exposed at Torinosu, south of Sakawa. The western extension of this series is intimately associated with another rock series maintaining the so-called Ryōseki flora and other mollusca of the Wealden or Lower Cretaceous age. But as their rocks are quite similar to each other it is very difficult to draw a boundary line between them, and so they are here grouped altogether under the name of the Torinosu-Ryōseki Series.

The series forms a belt extending from east-north-east

to west-south-west and is steeply monoclinal toward north.

On both sides, north and south, it is limited by faults from
the neighbouring Chichibu System and Kokuzōsan Series.

Fossils of Foraminifera, Corals, Crinoids and Mollusca from Torinosu, south of Sakawa were early described by Naumann, Neumayr and Prof. Yokoyama. Later, Prof. S. Tokunaga described Crinoids and Echinoids. Prof. H. Yabe, I. Hayasaka and al. also described Diatoms, Hydrozoa, Stromatopora and Corals from the same locality and several others in the neighbourhood. These fossils are listed on pages 18–20 of the Japanese text. From the limestone at Shiraishigawa in Chōja-mura, the following fossils are recorded: Chaetetopsis crinita Neumayr, Isastrea, Thamnastraea, Cidaris cfr. glandifera Gold. The above fauna is generally accepted to be of the Upper Jurassic in age.

From the shale exposed in the Shiraishigawa district and also at Yoshidayashiki, the following Ryōseki plants are recorded to have been collected:

Cladophlelis browniana (Dunker)

Podozamites pusillus VEL.

Zamiophyllum buchianum (Ett.)

Ptilophyllum cfr. cutchense Morris

Nilssonia schaumburgensis Dunker

The sandstone at Shiraishigawa yielded, besides these, Trigonia and Stephanoceras and that at Yamanokami, Trigonia pocilliformis Yok., T. rotundata Yok. and Alectryonia cfr. cornata Lam., which belong to the Lower Cretaceous. Recent is composed of clay, sand and gravel, forming alluvial plains along the rivers and dunes on the sea coast.

Diorite occurs as dikes or sheets intruded into the Palaeozoic rocks. The dike of the Kurotakigawa at Chōjamura has an extension of six kilometres from east to west, forming precipitous cliffs along it. It is coarse-grained and greenish gray, being chiefly composed of labradolite and hornblende. Its marginal facies seen at Kamigō and Miyakogoshi, and a small dike at Chōja show fine grained texture and afford a more basic aspect, containing a little amount of diopside.

Serpentine is found at Oriai, as a dike intruded into the Palaeozoic. It may be a rock differentiated from the diorite magma.

ECONOMIC GEOLOGY

Manganese Ore was mined about ten years ago at Ogawa-mura, Togano-mura and Kitahara-mura. The ore is kept in a hornstone which is interstratified in the Upper Palaeozoic-Triassic beds.

Limestone embedded in the Akigawa, Kokuzōsan and Upper Palaeozoic beds is burnt for lime at many places.

Siliceous Stone which is nothing but a red chert found at Ryū in Usa-mura and at Chōja in Chōja-mura was mined and used for iron furnace.

Building Stone is get from some sandstones of the Akigawa and Shimanto Series and some limestones, for foundation of building, tombs, and pavement of road, but only for local demand.

Tile-clay is dug from the Recent deposits for making roof-tile, particularly in the Takaoka plain and Sakawa basin.